

友

福島第一3号機水素爆発に伴う被害状況

【11:40】

- ・中央制御室の破壊はない模様。
- ・負傷者の有無は未確認。

【11:55】

- ・中央制御室4人。緊急時対策室840人。安否状況は不明。

【12:00】

- ・建屋の外に東電作業員2人、協力会社1人。計3人。負傷程度は不明だが意識有り。

【12:05】

- ・負傷者に対し、救急車要請中。

【12:23】

- ・中央制御室運転員はマスク装着で運転操作をしていた。
- ・負傷者は東電4名。協力会社2名。計6人。行方不明者は0名に訂正。

【12:27】

- ・2号機で自衛隊4人が打撲。

【13:11】

- ・協力会社1名の負傷者を確認。現時点で負傷者数は計11名。

【14:07】

- ・自衛隊を除く負傷者7名のうち、4名は福島第二の診療所に搬送、2名は救急車で搬送(搬送先は確認中)、1名は救急車で搬送不要と判断。

経済産業省

番号 14/524

経済産業省	
番号	141619

平成23年3月14日
経済産業省
原子力安全・保安院

福島第一原子力発電所3号機の爆発発生にかかる報告について(第3報)

1. プラント状況

- ・ 11:01の水素爆発後、原子炉格納容器の圧力が変動したことが確認されたが、その後安定しつつあり、原子炉格納容器の機能は維持しているものと考えている。
- ・ 燃料の冷却状況について、現在確認中。

2. 住民避難状況

- ・ 福島第一原子力発電所20km圏内における避難搬送待ち又は搬送中の人数は、3月14日14:20現在合計483名(確認中)。
- ・ 3号機の爆発確認後、屋内待避をお願いしたが、14:12、20km圏外への避難を再開。

3. 負傷者状況

- ・ 東京電力株式会社からの報告によると、爆発による負傷者は16:00時点において11名と聞いている。

(本発表資料のお問い合わせ)

原子力安全・保安院

原子力安全広報課：渡邊、金城

電話：03-3501-5890(原子力安全広報課)

住民避難の状況について(14時20分現在残留者数)

施設名	残留者数 (14:20現在)	備考
浪江西病院	75	状況確認中
ドーヴィル双葉	0	100名全員移動終了(相双保健所)
双葉病院	48(確認中)	状況確認中(33名は相双保健所に到着)
10km圏内合計	123(確認中)	
オンフル双葉	279	状況確認中
小坂あかさか病院	81	状況確認中
20km圏内合計	483(確認中)	

この他、複数名が自主的に自宅に屋内待避している模様。
それ以外の方々については、おおむね避難を終了。

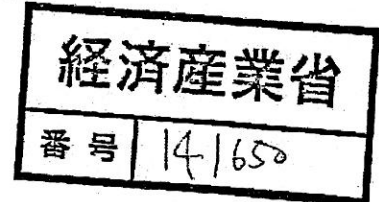
左1

ERC1様

←福島 総括班(1)

2011年 3月14日(月) 16:30 P001/001

送付先	ERCプラント班御中 福島 OFC 総括班宛
送付者	福島 OFC プラント班 責任者 上原 (明)



1F-1号機 海水注入作業等保安検査官確認結果
(3月14日 16時現在)
(新着・変更情報は、下線部。)

1. 現場の体制

- ・1F 保安検査官4名の状況 (3月13日7時40分1F緊対室へ到着し、対応中)
- ・1F-1 海水注入作業現場作業員 約10名

2. 現場の作業内容・進捗状況

① 1号機 (15:00のデータ)

炉水位: 燃料域 (A) -1800mm、(B) -1750mm
炉圧: (A) 0.041MPa (B) 0.268MPa
ドライウエル圧力: ダウンスケール S/C圧力: ダウンスケール
CAMS (D/W): 9.48×10^2 Sv/h、 (S/C): 2.62×10^1 Sv/h

3. その他

② 2号機 (15:00のデータ) 炉水位低下傾向

炉圧: 7.268~7.515MPa ハンチング
炉水位: 燃料域 (A) +1200mm、(B) +1200mm
(14:00: (A) +2000mm、(B) +2000mm)
ワイド (A) -850mm、(B) -850mm
(14:00: (A) +250mm、(B) +250mm)
ドライウエル圧力: 0.44MPa abs
S/C圧力: 不明、S/C水温: 不明
CAMS (D/W): 1.0×10^{-2} Sv/h
(S/C): 1.3×10^{-2} Sv/h

TAF到達16:30を予測していたが、遅くなる模様。

③ 3号機 (15:00のデータ)

炉圧: (A) 0.295MPa、(B) 0.298MPa
(14:00: (A) 0.276MPa、(B) 0.281MPa)
炉水位: 燃料域 (A) -1800mm (B) -2200mm
ドライウエル圧力: 0.480MPa abs
S/C圧力: 0.470MPa abs
CAMS (D/W) 指示確認できず。
(S/C): 指示確認できず。

海水ピットの中に汚染のあるコンクリート破片の除去作業を行っている模様。

ER (総括班) → 官邸リエール

左

全越課長からの第一報
(福島県のニーズ)

2011.3.14

総括班・土井

福島県に到着した全越課長から取り急ぎ以下の報告。

1. 政府の対策班に属する者、次項以後の果からのニーズに対応する期待が極めて大。
2. 果が至急に対応して欲しい。環境モニタリング計画の取りまとめ、公表。これに対応する助言・協力が最初の任務。
3. 次に果が困っているのは、入りっぱなし、衣服等の原子力安全活動の結果蓄積している汚染物品の除染、及び放射性廃棄物処理。
4. 上記2,3について、原子力防災課、文科省等の協力を得て対応して欲しい。御支援よろしくお願いします。

送付先	ERCプラント班御中 福島 OFC 総括班宛
送付者	福島OFC プラント班 責任者 上原(明)

経済産業省

番号 141811

1F-1号機 海水注入作業等保安検査官確認結果
(3月14日 17時現在)
(新着・変更情報は、下線部。)

1. 現場の体制

- ・1F保安検査官4名の状況(3月13日7時40分1F緊対室へ到着し、対応中)
- ・1F-1海水注入作業現場作業員 約10名

2. 現場の作業内容・進捗状況

・1号機 (16:00のデータ)

炉水位: 燃料域 (A) -1750mm、(B) -1750mm

炉圧: (A) 0.047MPa (B) 0.270MPa

ドライウエル圧力: 不明 S/C圧力: 不明

CAMS (D/W): 8.91×10^1 Sv/h、 (S/C): 2.62×10^1 Sv/h

3. その他

・2号機 (16:00のデータ) 炉水位低下傾向

炉圧: 7.448MPa

炉水位: 燃料域 (A) +300mm、(B) +300mm

(15:00: (A) +1200mm、(B) +1200mm)

ワイド (A) -2000mm、(B) -2000mm

(15:00: -850mm、(B) -850mm)

ドライウエル圧力: 0.42MPa abs

S/C圧力: 不明、S/C水温: 点検中

CAMS (D/W): 不明

(S/C): 不明

16:34より原子炉の減圧操作を行うとともに海水の注入作業を開始したが、17時頃減圧操作がうまくいっていないとの情報が入ってきた。

・3号機 (16:00のデータ)

炉圧: (A) 0.804MPa、(B) 0.306MPa

(15:00: (A) 0.295MPa、(B) 0.298MPa)

炉水位: 燃料域 (A) -1800mm (B) -2200mm

ドライウエル圧力: 0.480MPa abs

S/C圧力: 0.475MPa abs

CAMS (D/W): 不明

(S/C): 不明

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ
 3月14日 17:00現在 ✓

号機	1u	2u	3u	4u	5u	6u
注水状況	消火系ラインを用いた海水注 入は停止中	RCIC動作状態確認中。	消火系ラインを用いた海水注入を できるが確認中。	停止中	停止中	停止中
原子炉水位	燃料域A: -1750mm 燃料域B: -1750mm (16:00現在)	ワイパ: -mm V ワイパB: -mm V 燃料域A: -800mm V 燃料域B: -mm V (17:12現在) ✓	燃料域A: -1800mm V 燃料域B: -2200mm V (17:00現在) ✓	プール温度 84℃ (4:08)	-	-
原子炉圧力	0.047MPaG (A) 0.270MPaG (B) (16:00現在)	7.403MPaG V (17:12現在) ✓	0.261MPaG (A) V 0.261MPaG (B) V (17:00現在)	-	-	-
D/W - S/C 圧力	D/W 不明 S/C 不明 (16:00 監視電源計器)	D/W -MPaabs V S/C -MPaabs V (17:12現在) V	D/W 4.40kPaabs V S/C 4.40kPaabs V (17:00現在) ✓	-	-	-
S/C 水温度	(16:00 監視電源計器)	S/C 水温度 監視中 V (17:12) V	(17:00現在) ✓	-	-	-
CAMS	8.91X10 ¹ SV/h 2.62X10 ¹ SV/h (16:00 現在)	不明 SV/h V 不明 SV/h V (17:12現在) V	D/W 不明 V S/C 不明 V (17:00現在) ✓	-	-	-
D/W 設計使用圧力	384kPaG	384kPaG	384kPaG	-	-	-
D/W 最高面圧力	427kPaG	427kPaG	427kPaG	-	-	-
電源	1Aトリップ 1Bトリップ	2Aトリップ 2Bトリップ	3Aトリップ 3Bトリップ	4AB 使用不可	SAB トリッ プ	6B 動作中 6A 不可 HPCS 不可
その他情報	3/13 22:15 3u D/DFP停止 (燃料が難しくなる前に停止した) 3/14 1:10-1号機および3uの海水注入を停止 (くみ上げ機所の海水の勢が弱くなったことから、復旧のため)。 3/14 3:20 3号機の海水注入再開。					

経済産業省
 番号 161810

送付先	ERCプラント班御中 福島 OFC 総括班宛
送付者	福島OFC プラント班 責任者 上原 (明)

福島第一原子力発電所における 海水注入作業等保安検査官確認結果
(3月14日 18時現在)

(新着・変更情報は、下線部。)

プラントの状況

・ 1号機 (16:00のデータ)

炉水位: 燃料域 (A) -1750mm、(B) -1750mm

炉圧: (A) 0.047MPa (B) 0.270MPa

ドライウエル圧力: 不明 S/C 圧力: 不明

CAMS (D/W): 8.91×10^2 Sv/h、 (S/C): 2.62×10^2 Sv/h

・ 2号機 (17:12のデータ)

炉圧: 7.403MPa

炉水位: 燃料域 (A) 二、(B) -800

(16:00: (A) +300mm、(B) +300mm)

ドライウエル圧力: 二

S/C 圧力: 二、S/C 水温: 点検中

CAMS (D/W): 不明

(S/C): 不明

17時17分にTAF (有効燃料潤) に到達した。

・ 3号機 (17:00のデータ)

炉圧: (A) 0.261MPa、(B) 0.261MPa

炉水位: 燃料域 (A) -1800mm (B) -2200mm

ドライウエル圧力: 0.440MPa abs

S/C 圧力: 0.440MPa abs

CAMS (D/W): 不明

(S/C): 不明

経済産業省

番号 141851

以上
1/1

全部共有

FIX

<福島第二原子力発電所プラント状況等のお知らせ>
(3月14日 午後7時00分現在)

下線部が追加情報です

平成23年3月14日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

1号機(停止中)【停止時刻：3月11日午後2時48分】

- ・原子炉は停止し、原子炉水位も安定しております。
- ・外部電源は受電有
- ・挿入位置不明のおそれがある制御棒が1本ありましたが(3月12日午前8時19分に警報発生)、3月12日午前10時43分、警報は自然解除されました。ほかの制御棒もすべて全挿入位置にあることを確認。(原子炉は未臨界状態)
- ・主蒸気隔離弁の状態：閉
- ・原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。
- ・3月12日午前5時22分に圧力抑制室の温度が100℃を超え、原子炉の圧力抑制機能喪失したことから、午前5時22分、原子力災害対策特別措置法第15条第1項の特定事象が発生したと判断しました。
- ・安全を確保するため、原子炉格納容器内の圧力を降下させる措置(放射性物質を含む空気の一部外部への放出)の準備を行いました。(3月12日午前9時43分頃より準備開始。同日午後8時30分準備完了。)
- ・原子炉冷温停止に向けて、原子炉冷却機能の復旧作業を実施していましたが、作業が完了し、3月14日午前1時24分より原子炉を残留熱除去系で冷却中。
- ・その後、圧力抑制室の平均水温が100℃を継続的に下回っていることを、3月14日午前10時15分に確認しました。
- ・3月14日午後5時から、原子炉冷温停止中。

2号機(停止中)【停止時刻：3月11日午後2時48分】

- ・原子炉は停止し、原子炉水位も安定しております。
- ・外部電源は受電有
- ・制御棒は全挿入中(原子炉は未臨界状態)
- ・主蒸気隔離弁の状態：閉
- ・原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。
- ・3月12日午前5時32分に圧力抑制室の温度が100℃を超え、原子炉の圧力抑制機能喪失したことから、午前5時32分、原子力災害対策特別措置法第15条第1項の規定に基づく原子力緊急事態に該当する事象が発生したと判断しました。
- ・安全を確保するため、原子炉格納容器内の圧力を降下させる措置(放射性物質を含む空気の一部外部への放出)の準備を行いました。(3月12日午前10時33分頃より準備開始。同日午前10時58分準備完了)
- ・原子炉冷温停止に向けて、原子炉冷却機能の復旧作業を実施していましたが、作業が完了し、3月14日午前7時13分より原子炉を残留熱除去系で冷却中。
- ・その後、圧力抑制室の平均水温が100℃を継続的に下回っていることを、3月14日午後3時52分に確認しました。
- ・3月14日午後6時、原子炉冷温停止。

3号機(停止中)【停止時刻：3月11日午後2時48分】

- ・原子炉は停止し、原子炉水位も安定しております。
- ・外部電源は受電有
- ・制御棒は全挿入中(原子炉は未臨界状態)
- ・主蒸気隔離弁の状態；閉
- ・原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。
- ・安全を確保するため、原子炉格納容器内の圧力を低下させる措置(放射性物質を含む空気の一部外部への放出)の準備を行いました。(3月12日午後0時8分頃より準備開始、同日午後0時13分準備完了)
- ・3月12日午後0時15分から、原子炉冷温停止中(残留熱除去系)。

4号機(停止中)【停止時刻：3月11日午後2時48分】

- ・原子炉は停止し、原子炉水位も安定しております。
- ・外部電源は受電有
- ・3月13日午後0時43分、挿入位置不明のおそれがある制御棒が1本確認されましたが、挿入状態を示すほかの信号から、全制御棒が挿入状態にあることを確認済みです。本事象について原因を調査します。
- ・主蒸気隔離弁の状態；閉
- ・原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。
- ・原子炉の冷却のため、復水補給水系で注水していましたが、3月12日午前6時7分に圧力抑制室の温度が100℃を超え、原子炉の圧力抑制機能喪失したことから、午前6時7分、原子力災害対策特別措置法第15条第1項の規定に基づく原子力緊急事態に該当する事象が発生したと判断しました。
- ・安全を確保するため、原子炉格納容器内の圧力を低下させる措置(放射性物質を含む空気の一部外部への放出)の準備を行いました。(3月12日午前11時44分頃より準備開始、同日午前11時52分頃準備完了)
- ・原子炉冷温停止に向けて、原子炉冷却機能の復旧作業を実施していましたが、作業が完了し、3月14日午後3時42分より原子炉を残留熱除去系で冷却中。

■点検状況など

- ・3月14日午前11時1分頃、当社・福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋において、水素爆発の可能性のある大きな音および白煙が発生しました。(お知らせ済み)
- ・福島第二原子力発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値(3月14日午後7時)は、通常値と変化なく、現時点において外部への放射能の影響は確認されておりません。
- ・引き続き、排気筒や放水口等からの放射性物質の放出の可能性について詳細に監視してまいります。

以上

左1

プリント関連パラメータ

印刷機
本日、2145の記録を見て

「地震情報(23報)」にて添付資料

1F2uプリントデータ

平成23年3月14日

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:12	18:00	19:00	19:35
水位(燃料)A(mm)	3950	3900	3800		3400	2500	2000	1200	300	-800	-1600	ダウンスケール	ダウンスケール
水位(燃料)B(mm)	3950	3950	3850		3400	2500	2000	1200	300				
原子炉圧力A(MPa)	5.31	5.31	5.49		6.01	7.07	7.695	7.268	7.45	7.40	7.13	0.63	0.61
格納容器圧力(MPaab)	0.46	0.46	0.46		0.46		0.46	0.44	0.42			0.4	0.395

1F3uプリントデータ

平成23年3月14日

	8:00	9:00	10:00	11:01	12:05	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	19:30
水位(燃料)A(mm)	-1000		-1400		-1800	-1800	-1800	-1800	-1800	-1800	-1850	-1900	-1900
水位(燃料)B(mm)	650		-300		-2200	-2200	-2200	-2200	-2200	-2200	-2200	-2300	-2300
原子炉圧力A(MPa)	0.31		0.32		0.19	0.25	0.28	0.30	0.30	0.26	0.20	0.18	0.18
原子炉圧力B(MPa)	0.32		0.33		0.20	0.25	0.28	0.30	0.31	0.26	0.20	0.18	0.18
格納容器圧力(MPaab)	500		510		370	430	460	480	480	440	380	360	355

爆発発生

経済産業省

番号 14 21138